川大学学生

VOL.7 #20 2018年1月19日(金) Edogawa Times

発行: 江戸川大学企画総務課

で新たな挑戦





を実施する。 学園祭でファッションイベント 同コースでは、授業の一環として ション・音楽ビジネスコースだ。 習・実習」という科目を2年次に ス分けがあり、その一つがファッ **履修する。この科目は4つのコー** 「江戸川ガールズコレクション」 前期の授業ではファッションビ

ジネスの概要を学び、ファッショ

ンイベントの事例研究と、エドコ レの企画立案を行った。テーマ決

動きに変化を出したいとステージ やショーの順番が変わる。今年は ショーの3部構成で、毎年ライブ コレは、例年アーティストライ めなどすべてを学生が行う。エド め、ブランドへの交渉、ゲスト決 を四角形から十字型にした。 ブ、ファッションショー、トーク

後期の授業が始まると、ファッ

予定より時間がかかってしまっ

うか」と満足そうに語った。

んな経験をすることがあるのだろ

プロデューサーの大城珠実さん

「とても緊張した。エドコレを

江戸川大学第二体育館に 1118 人の 来場者を迎え、第8回江戸川ガー ション、通称エドコレが 11 月 谷明日香 取材・文:和田美菜海)

時間30分ほどオーバーした。 がかかり、終了時刻が予定より1 もはじめて作るそうで作業に時間 当日11月3日の9時。学生たち 十字型ステージは業者の人たち

す学生と、指示をモデルに的確に され、音楽が重なるタイミングも スクリーンにブランド名が映し出 学生たちを指導している。さらに は演出の要だ。古川さんも厳しく ルがランウェイを歩くタイミング ワークでリハーサルは進む。モデ 伝えて一緒に歩く担当と、チーム イを歩くのは初めてだ。指示を出 た。モデルたちも十字型ランウェ ハーサルと最終チェックが始まっ はスーツ姿だ。本番に向けて、リ やりたくて入学した。これからこ

みんな真剣な表情だ。プロデュー 園祭まで残り約1か月しかない。 ションショー演出の専門家である トラックから荷物が第二体育館に 担当毎に分かれ、打合せ、状況報 会場5人、音楽2人。学生たちは ング、広報は各3人、演出4人 白川史郎さんが指導に加わる。学 イベント前日の11月2日10時 ディスカッションを行う。 スタイリング、キャスティ

伝って、ステージが作り上げられ 心に、経営社会学科の1年生も手 運ばれていく。業者の人たちを中

ごとに「ワー!!」と歓声が起こっ

が近い。モデルがポーズを決める ステージは観客とモデルとの距離

経営社会学科では「経営社会演

こ&りゅうちぇる)」のトーク と盛り上がり、エドコレは幕を閉 ション・アドバイスで会場は一段 履いたら素敵」と、ぺこ流のファッ ショー。「男性がカラータイツを 最後は特別ゲストの「ぺこ(ペ

げで今年もいいエドコレになっ ともなく乗り切ることができまし も、みんながちゃんと動いてくれ は、「ファッションショーの時に た。ありがとう」と話した。 た。みんなが頑張ってくれたおか 音楽が一瞬とまるというハプニン たので、お客様には気づかれるこ グがあり、すみませんでした。で 片付け後の反省会で古川さん

組HIPHOPユニット chelmico(チェ が、ランウェイを飾った。十字型 開けた。続いてレプロエンターテ ルミコ)による音楽ライブで幕を たが、ファッションショーのロ インメント所属のプロモデル16名 ハーサルはなんとか無事に終了。 13時30分。エドコレは女性2人

